

灯 (あかり)

玉之浦小中学校だより

第 17 号
令和4年12月7日

長かったはずの2学期も、あつと言う間に12月を迎えました。新型コロナの影響はいくらかありましたが、ほぼ計画通りに学習活動・行事を実施できています。ご家庭での体調管理や、感染予防へのご協力に感謝いたします。今号では、玉小米の最後の活動になった「餅つき」と、中学3年生が挑戦した「口ポコン九州大会」の様子を中心に伝えします。

米づくりの集大成：

玉小米「餅つき」

5月の塩水選に始まり、種まき、田植え、稲刈り、脱穀と、季節ごとの作業を行い収穫した玉小米を使って『餅つき』を行いました。11月25日(金)の餅つき本番の前から、玉小米リーダーの5・6年生は、餅つきに必要な道具の準備や洗米などの作業に取り組んでくれました。また当日は、保護者や地域の皆様が集まっていただき、火起こしから餅米を蒸す作業、



紹介 紗英さん・希美さん 小1「頑張るぞ、オー！」



小5・6 作業の説明 進行 紬さん・嘉帆さん



秘技? 3人づき



餅つき、つき上がった餅を丸めてパック詰めする。開会式は、紬さんと嘉帆さんの司会で進みました。小学1年生の元気なあいさつ、紗英さんと希美さんからの玉小米の紹介(200kgの収穫があり、米がとれ、今日は20kgをつくことなど)、小学5・6年生からの作業手順の説明があり、餅つきが始まりました。2セットの準備していたのですが、杵の重さに苦戦したり、石臼の縁を叩いて木くずが出るなど、お決まりのハプニングがありました。最後は中学生がしっかりとつき上げてくれました。つき上がった餅は体育館に運ばれ、小さく取り分けられて小餅に丸められました。白餅2個と餡子餅1個をパック詰めにして、130パックを目指したのですが、予定を大きく上回る数ができました。閉会式後、小学5・6年生と中学生、保護者と地域の皆様で、後片付け



丸めて： パック詰め

を行い、すべての作業を終えました。パック詰めした餅は家庭に持ち帰り、味わったことと思います。餅つきに使わなかった餅米は、あらかじめ2kgずつ袋に分けてくれていたので、保護者と職員に販売しました。収益は、次年度の玉小米づくりの費用に充てます。

玉小米リーダーの小学5・6年生たちが、年間を通してよく頑張ってくれました。また地域や保護者の皆様のご支援がなければ成り立たない活動でした。玉小米づくりに「食べ物をつくる労力や苦労を知る」という食育の学習としての目的もあります。ご家庭でも、



5/13 塩水選



5/25 苗床移動



10/14 稲刈り



5/20 種まき



6/10 田植え



10/25 脱穀

ジューニア熊壇

11月28日(月)長崎新聞に生徒作品が掲載されました。

○益明けの部活終わりの通り雨

中3 中村和志さん

○ひらひらと落ちる落ち葉をそうじする

中2 塙 優斗さん

○ホカホカと手の上転がるさつまいも

中2 中山穂乃香さん

食卓に上がる食べ物について、時々話題にしたいだけだからと思います。次年度も、ご協力を宜しくお願いいたします。

「とんぼ」準優勝！ ロボコン九州大会

敢闘賞「MANTIS」

《これまでの経緯》

技術の授業、夏休み、昼休みや放課後の時間を使って、中学3年生6名がロボコンの基礎部門に取り組んできました。10月15日(土)五島市大会で2位と3位に入賞し、県大会出場権を獲得。11月6日(日)雲仙市の小浜体育館で開催された県大会で、2チームとも3位に入賞し、九州大会の出場権を獲得しました。



チーム「とんぼ」
太志さん・和志さん・子母心さん



チーム「MANTIS」
真一さん・颯太さん・未来さん

【基礎部門のルール】
モーター4個を使って、規定の大きさに収まるロボットを製作。コートに散らばった長さ230ミ、直径60ミの丸棒アイテムを、90秒間でゴールに立てた本数、またはすべてのアイテム(6本)を立てるために要した時間を競います。(これをパーフェクトゲームと呼びます。)

12月3日(土)・4日(日)、

県大会と同じ雲仙市の小浜体育館で『創造アイデアロボコンテスト九州地区中学生大会』が開催されました。本校が出場した基礎部門は、4日(日)に試合が行われました。県大会後も改良を加えて動作スピードを向上させ、練習も積んできましたが、九州大会ともなるとレベルの高い試合展開が予想され、他県の上位チームとの対戦もある中で、少し緊張していました。

基礎部門には36チームが出場し、予選では2試合を行い、勝率や得点差から順に決勝トーナメントに進む16チームが選ばれました。「MANTIS」と「とんぼ」は、2試合ともパーフェクトゲームで勝利し、揃って決勝トーナメントに進出しました。

「MANTIS」の初戦は熊本県のチームとの対戦でした。途中で「MANTIS」がアイテムを落とすため試合の流れが変わり、相手チームが一瞬早くパーフェクトゲームを達成。「MANTIS」の挑戦が終わりました。「とんぼ」の初戦は佐賀県のチームで、操作ミスが多く、はらはらしましたが、パーフェクトゲームで勝利。準々決勝では沖縄県のチーム、準決勝では長崎市のチームに競り勝ちました。

長崎市のチームは、県大会で「MANTIS」が惜敗したチームで、42秒パーフェクトゲームでの勝利でした。決勝戦は同じ五島市の奥浦中学校との対戦で、県大会優勝の実績を持つチームでした。拮抗した展開でしたが、奥浦中学校が早くパーフェクトゲームを達成し、「とんぼ」は準優勝という結果でした。これにより、全国大会(1月にリモートで実施)の出場権を獲得しました。また「MANTIS」は、ロボットの仕組みのユニークさや、動作の大胆さが評価されて敢闘賞を受賞しました。取組を始めた時には想像もなかった九州大会、そして素晴らしい結果でした。



「MANTIS」と「とんぼ」が惜敗したチームで、42秒パーフェクトゲームでの勝利でした。決勝戦は同じ五島市の奥浦中学校との対戦で、県大会優勝の実績を持つチームでした。拮抗した展開でしたが、奥浦中学校が早くパーフェクトゲームを達成し、「とんぼ」は準優勝という結果でした。これにより、全国大会(1月にリモートで実施)の出場権を獲得しました。また「MANTIS」は、ロボットの仕組みのユニークさや、動作の大胆さが評価されて敢闘賞を受賞しました。取組を始めた時には想像もなかった九州大会、そして素晴らしい結果でした。



賞状と盾を持って記念撮影しました。市長を表敬訪問し、ロボコン大会の報告を行う予定です。次号では、その様子を紹介いたします。

俳句&標語

中学生が創作している俳句だけでなく、各種コンクールにも応募しています。また俳句の延長として、標語にも取り組みました。

【川端康成文学館俳句コンクール】

茨木市の川端康成文学館が主催している俳句コンクールに応募したところ、中学3年生金丸未来さんの作品が入選したとの連絡がありました。

○秋の星空見上げてみればプラネタリウム

【世界平和祈念ポスター・標語展】

長崎市長を会長とする世界平和祈念行事実行委員会が主催する標語の取組があり、本校から2名の作品が努力賞に入賞しました。

○核兵器なくしてこそその平和な世

中学3年生 緒方真一さん

○この世から戦争・差別なくさんば

中学3年生 出口子母心さん

防寒のお願い

現段階で、学校での新型コロナウイルス感染予防対策の変更はなく、冬季も教室内の換気経路を確保します。暖房の使用については、16℃以下という基準があり、換気しながらの暖房は効率が悪く、社会情勢に鑑みても電気料金が膨らんでいくことが予想されます。そこで、屋内でも自分の判断で上着を着用したり、中着や下着などを工夫したりするなど、改めて個々の防寒対策をお願いいたします。その上で、基準や状況に照らして暖房を使用します。このことは、子どもたちとも確認します。ご理解・ご協力を宜しくお願いいたします。